

平成25年度上期(平成25年4月～平成25年9月)

渡島管内観光入込客数調査

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「観光入込客数調査」について
道における観光入込客数調査は、「観光入込客統計に関する共通基準」(H21年12月、観光庁)を踏まえ、平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」(H9年1月制定に準ずる)に基づき実施しています。

<調査対象市町村>

本調査は、全道の市町村を対象に調査しています。

<実人数>

1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れても1人と算出します。

1人の観光客が1回の旅行で宿泊施設に2泊以上滞在しても1人と算出します。

<総数>

市町村の実人数の単純合計です。(実人数に対して、延べ人数となっています。)

1 概況

- (1) 平成25年度上期(4月～9月、以下同様)の渡島管内観光入込客数の総数は、約695万2千人で、平成24年度上期に比べ約43万3千人の増加、対前年同期比106.6%となっています。

上期の入込客数としては、平成19年度以降最多となりました。

(単位:千人)

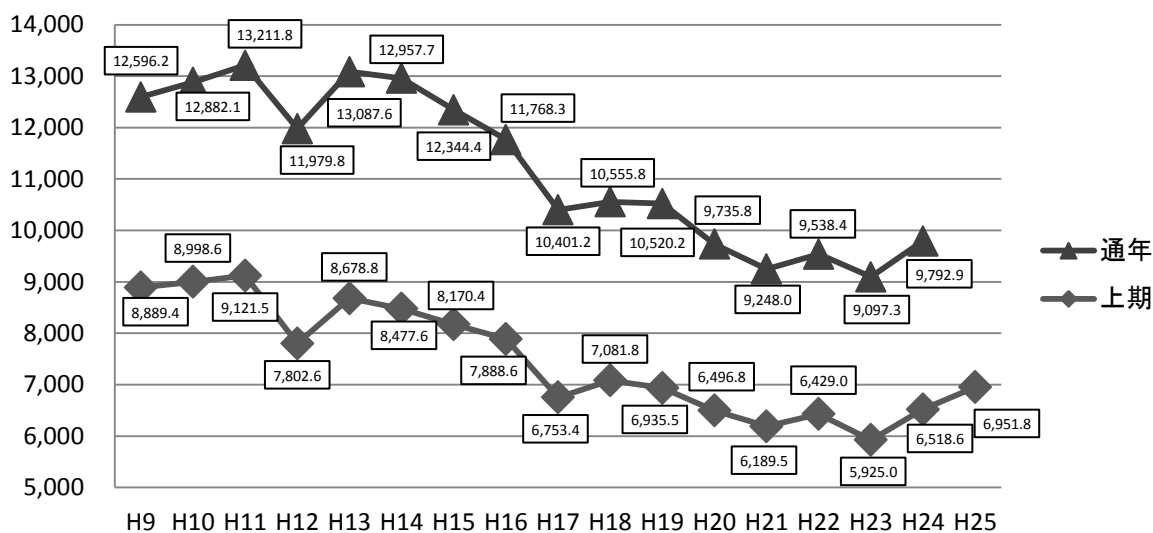
平成25年度上期	平成24年度上期	増減	対前年同期比
6,951.8	6,518.6	433.2	106.6%

- (2) 主な要因としては、7月のGLAYコンサートや函館競馬場の長期開催など、大型イベントが続いたことが考えられます。

また、函館－台湾線の好調や、道央自動車道 森IC－大沼公園IC間の開通で道央からの利用が伸びたこともあげられます。

(単位:千人)

観光入込客数経年推移



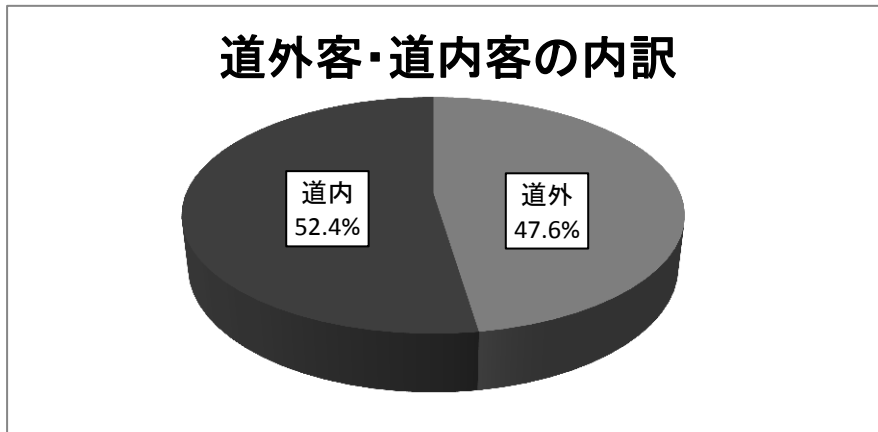
2 道外客・道内客の状況

道外・道内観光客別では、道外観光客が約18万8千人の増加、道内観光客は約24万5千人の増加となりました。

道外・道内観光客の割合は、前年同期から大きな変動はありませんでした。

(単位:千人)

	平成25年度上期	平成24年度上期	増減	対前年同期比
道外客	3,307.7	3,119.5	188.2	106.0%
道内客	3,644.1	3,399.1	245.0	107.2%
各年度上期計	6,951.8	6,518.6		



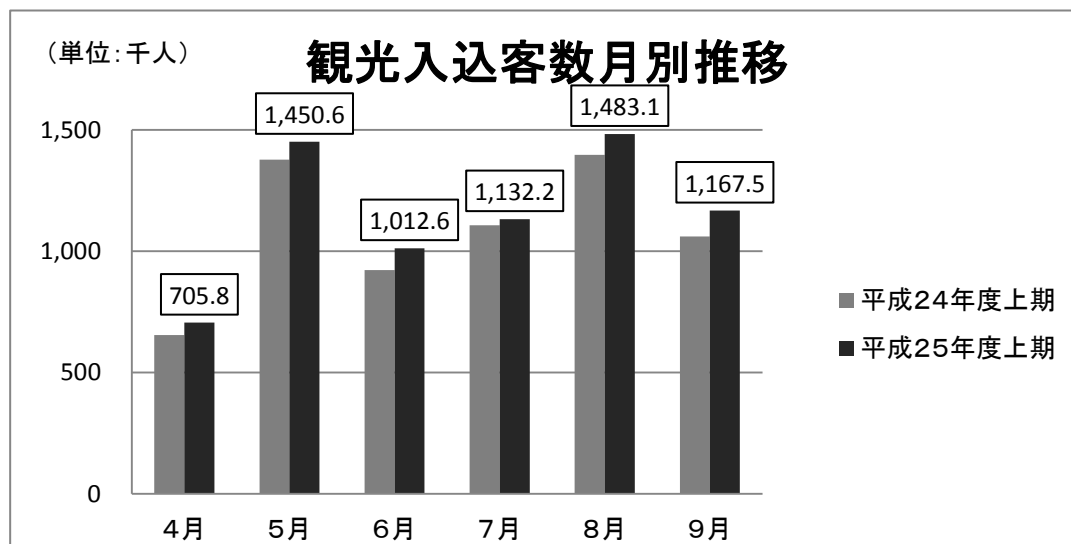
3 月別の推移

全ての月において、前年同期より観光入込客数が増加しています。

特に、9月にはイベント来場者の増や、曜日の並びがよかったこと等により、対前年同期比110.1%となっています。

(単位:千人)

	平成25年度上期	平成24年度上期	対前年同期比
4月	705.8	654.2	107.9%
5月	1,450.6	1,377.9	105.3%
6月	1,012.6	922.5	109.8%
7月	1,132.2	1,106.5	102.3%
8月	1,483.1	1,397.3	106.1%
9月	1,167.5	1,060.2	110.1%



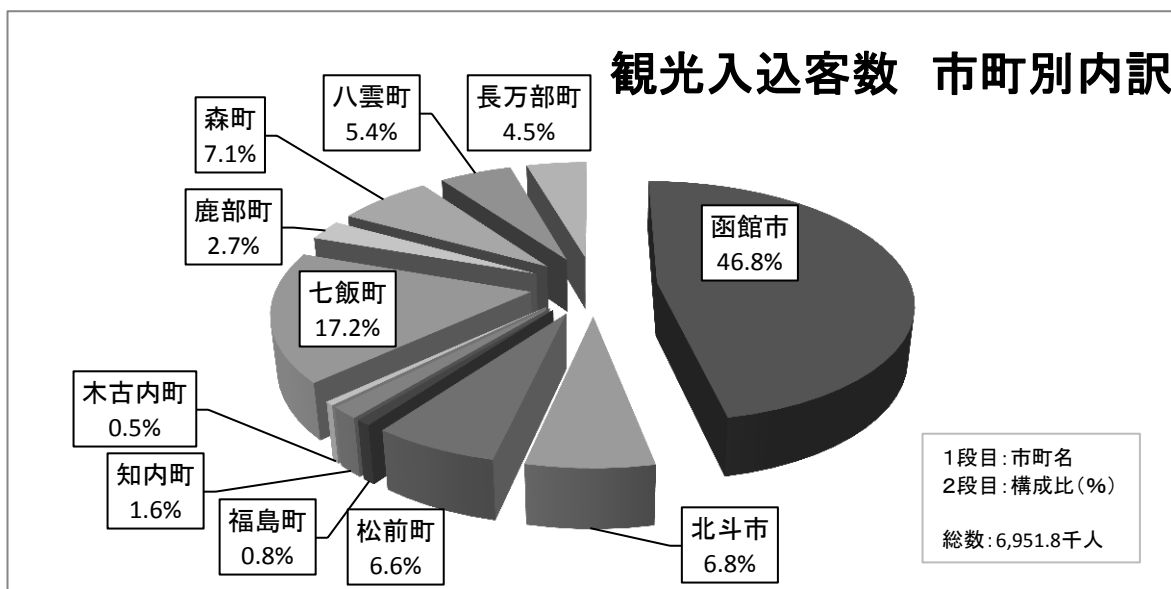
4 市町別の状況

福島町、知内町など4町が前年度に比べ減少しましたが、函館市、北斗市、松前町など7市町では増加しました。

特に、函館市は約21万7千人、北斗市は約6万5千人、松前町は約5万人、七飯町は約10万6千人の増加となりました。

(単位:千人)

	平成25年度上期	平成24年度上期	増減人数	対前年同期比
函館市	3,252.2	3,035.2	217.0	107.1%
北斗市	468.5	403.9	64.6	116.0%
松前町	461.4	411.7	49.7	112.1%
福島町	56.1	57.4	▲ 1.3	97.7%
知内町	111.3	113.2	▲ 1.9	98.3%
木古内町	36.3	35.6	0.7	102.0%
七飯町	1,197.7	1,091.9	105.8	109.7%
鹿部町	187.5	151.7	35.8	123.6%
森町	490.9	540.4	▲ 49.5	90.8%
八雲町	377.1	360.9	16.2	104.5%
長万部町	312.8	316.7	▲ 3.9	98.8%
各年度上期計	6,951.8	6,518.6	433.2	106.6%



平成25年度上期 渡島管内各市町観光客入込状況

(単位:[上段]千人 [下段]%)

市町名	入込数	内訳				主な増減要因等
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客	
函館市	3,252.2	2,061.8	1,190.4	1,264.8	1,987.4	7月以降のJR北海道函館本線における出火事故等による運休があったものの、前年11月開通の道央自動車道「森一大沼公園IC」が好調でバス・乗用車の利用客が増加した。
	107.1	106.9	107.7	107.7	106.8	また、前年度9・10月就航の函館—台北線の定期便が好調で台湾観光客が増加。函館競馬場長期開催、GLAY野外ライブ、函館ハーフマラソン大会等の大型イベントもあり昨年度より増加した結果となった。
北斗市	468.5	20.1	448.4	451.8	16.7	5月の「桜回廊イベント」開催では「うそ」による被害のため昨年より入込客数が大幅減となったが、7月のGLAYコンサート開催、8月のスポーツ合宿実施団体数の増により入込客の増となった。
	116.0	92.6	117.3	116.4	105.0	
松前町	461.4	96.8	364.6	419.0	42.4	5月に開催された「松前さくらまつり」期間中の入込客数は19万7,400人となり、前年対比で4万2,500人の増加となった。桜の開花が遅れ、開催期間が1週間長くなったことやテレビ番組に取り上げられたことが要因として考えられる。また9月に開催された「マグロまつり」の入込客数も昨年の倍以上の15,200人となり、ポスター・チラシ製作に力を入れ、インターネット等で周知したことが要因として考えられる。
	112.1	112.2	112.0	114.8	90.6	
福島町	56.1	5.5	50.6	54.4	1.7	横綱記念館・青函トンネル記念館及び吉岡温泉、道の駅の入込数については概ね横ばい若しくは1割程入込増として推移はしているが、海峡横綱ビーチ海開き後の休日(土曜日・日曜日)の天候不良によりビーチ入込数の大幅な減へ繋がってしまった。
	97.7	101.9	97.3	97.5	106.3	
知内町	111.3	45.5	65.8	100.8	10.5	8月のイベント、サマーカーニバルin知内の来場者数が減ったことによる減(北島音楽事務所の所属タレントの出演がなかった事による)
	98.3	98.1	98.5	98.1	101.0	
木古内町	36.3	3.1	33.2	35.2	1.1	イベント参加者が増えたためと考えられる。
	102.0	81.6	104.4	101.4	122.2	

※下段は対前年同期比

(単位:[上段]千人 [下段]%)

七飯町	1,197.7	814.4	383.3	1,134.9	62.8	インバウンド客が増加傾向。国内客は連泊プランも増加し、顧客単価も高い。また、東北地方(宮城・秋田)からの入込が目立つことや、ファミリー層でのレンタカーパックが増加している。函館圏でのイベント(GLAY等)においては業種により入込客の増減あり。
	109.7	113.5	102.4	108.7	131.1	
鹿部町	187.5	18.4	169.1	154.4	33.1	8月開催しかべ海と温泉のまつり入込2,000人の減(当日、悪天候のため。)吉の湯200人の増、鹿の湯400人の増、倉敷600人の増(各旅館個人の利用者が増えたため。)鹿部ロイヤル1,000の減(ツアー客の減少や改修に伴う減少のため)鹿部・大沼カントリークラブ、鹿部飛行所、間歇泉公園、各施設約100~1,000の増(イベントや個人の利用者が増えたため。)鹿部プール2,000人の減(利用者が減ったため。)鹿部公園5,000人の増(バイパスと公園内に大きい駐車場ができて昔より入りやすくなり、5月に記念イベントを開催したため。)
	123.6	120.3	124.0	129.5	101.8	
森町	490.9	40.3	450.6	451.7	39.2	桜まつりの開催期間を1週間延長したが、桜の開花が遅れたため観光客の入込は昨年より減少。また、夏のまつりinもりが2日開催から1日開催に変更したことや、夏~秋にかけて大雨や台風の影響により、三業まつりの中止や、さわらふるさとまつりの会場変更等の影響も考えられる。
	90.8	42.4	101.2	90.9	89.9	
八雲町	377.1	97.5	279.6	365.5	11.6	東日本大震災の影響が更に弱まり、各種観光事業の取り組み・宣伝効果もあって震災前年である平成22年度の水準を超えるに至った。7月のみ昨年度より低いのは、昨年度の山車行列が30回記念開催で大幅な入込増となっていたため。
	104.5	105.3	104.2	104.4	107.4	
長万部町	312.8	104.3	208.5	301.6	11.2	長期間にわたるJRの不通にかかる減少
	98.8	98.6	98.9	98.3	113.1	

※下段は対前年同期比